



Bacchus  
Universe Series

# COLOR COLLECTION

2026

Bacchus Universe Series 全233機種掲載 2026年3月1日版



## Bacchusのカラーへのこだわり

Bacchusの楽器をご購入いただいたお客様からのアンケートを見ると「カラーや見た目Bacchusを選んだ」という声がとても多いことに驚かされます。

自分の気持ちや感情を表現するための楽器だからこそ「自分に合うカラー」を選ぶことが楽器選びの大切なポイントになると私たちは考えています。

一人ひとりが、自分にぴったりの1本を見つけられるようにBacchus Universeシリーズではさまざまなカラーバリエーションを展開しています。

本バンプレットの表面では、Universeシリーズの全カラーラインナップを掲載しました。自分に合う1本を見つけてみてください。



## ちいばん シグネチャーモデル WJB-CHIIPAN

Youtubeなどの動画投稿サイトにて圧倒的な人気を誇る「ちいばん」のシグネチャーモデル。33インチスケールや全体のデザインなど、初代モデル「WL-CHIIPAN」の設計とコンセプトを受け継ぎながら、ステンレスフレットやヒールレスカットなど、さらなる進化を遂げました。



### 一味違うBacchusの個性派モデル

#### 24フレット テクニカルギター

アーミングの行いやすさ、24フレットによる幅広い音域、多彩なサウンドメイクが可能なピックアップレイアウトなど、様々な音楽シーンに対応する仕様をそなえたテクニカル系モデル。

TAC24 FMH RSM / IMP24 FMH RSM

#### ブラックパール ピックガードモデル

ブラックパール・ピックアップを装着したスポット生産品。Bacchus Universeシリーズの定番機種が高級感と落ち着いた音のあるルックスに生まれ変わりました。

BBH4-RSM/R-BPPG / BST2-RSM/R-BPPG

#### 初めての1本や練習用に

お子様や体の小さい方でも挑戦しやすい、ミニサイズのエレキギター/エレキベース。パーツの大部分に通常サイズモデルと同基準のしっかりとしたものを採用しつつも、自然な見た目になるように細部のデザインを調整しました。

GS-Mini / WJB-Mini

## “DX”モデルとは

“DX”が品番に含まれた製品には、機性能を高めた仕様を採用しています。エントリーモデルとしては珍しいステンレスフレットの採用に加え、ネックジョイント部分にヒールレスカットを施すなど、サウンドと弾き心地の両面から新たな要素をプラスしました。



### ステンレスフレット

一般的なニッケルフレットに比べて耐摩耗性に優れたステンレスフレットを採用。フレットがすり減り辛く、長期間フレット交換をせずに使用することが可能です。サウンド面においてもその効果を発揮し、輪郭のあるクリアなトーンを生み出します。



### ヒールレスカット

ボディとネックの接合部分「ヒール」を斜めにカットすることにより、ハイポジションでの演奏性が向上する「ヒールレスカット」を採用。これによってスムーズなフィンガリングが可能となりました。

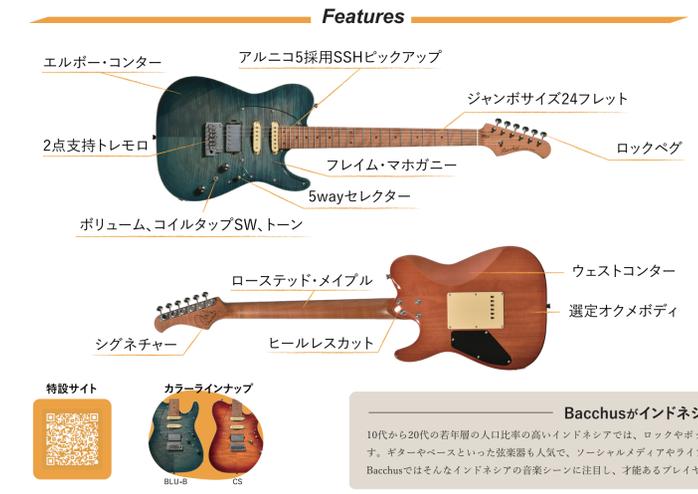
### 新たに開発されたメタリックカラー

霧の立ち込める夜明けをイメージした「Misty Dawn Gold」や、青とミレの中間色を狙った「Indigo Purple Metallic」など、“DX”モデルの発売にあたり新たなメタリックカラーを調色しました。



## アンドロ・デイヤス シグネチャーモデル TAC24AD FMH RSM

インドネシアの音楽シーンを支える重鎮ギタリスト「アンドロ・デイヤス」のシグネチャーモデル。アンドロがメイン機材として使用してきたBacchusの特注ギターへのデザインと仕様をベースに、手に取りやすい価格帯のUniverse Seriesに落とし込みました。ロックベグ、2点支持トレモロ、ジャンボサイズの24フレット仕様、SSHレイアウトなど、テクニカルなプレイに対応した仕様を余すことなく備えています。



## アビム・フィンガー シグネチャーモデル GS-ABIM RSM/M

インドネシア出身の最注目若手ギタリスト「Abim Finger (アビム・フィンガー)」のシグネチャーモデル。10代にして頭角を現したアビムは、数々のギターコンテストで受賞を重ねる。登録者数37万人 (2026年1月現在) を超える自身のYouTubeチャンネルへの投稿動画は、数々の名ギタリストを含む、国や世代を超えた多くの視聴者から高い評価を集めている。



**Bacchusがインドネシアのギタリストに注目する理由**

10代から20代の若年層の人口比率の高いインドネシアでは、ロックやポップミュージックへの熱が非常に高く、大きな盛り上がりを見せる音楽シーンがあります。ギターやベースといった楽器も人気で、ソーシャルメディアやライブシーンを通じてどんどんと優れたプレイヤーが生み出されています。Bacchusではそんなインドネシアの音楽シーンに注目し、才能あるプレイヤーとコラボレーションを行っています。